



考えよう！

私が始めるSDGs



# PART I

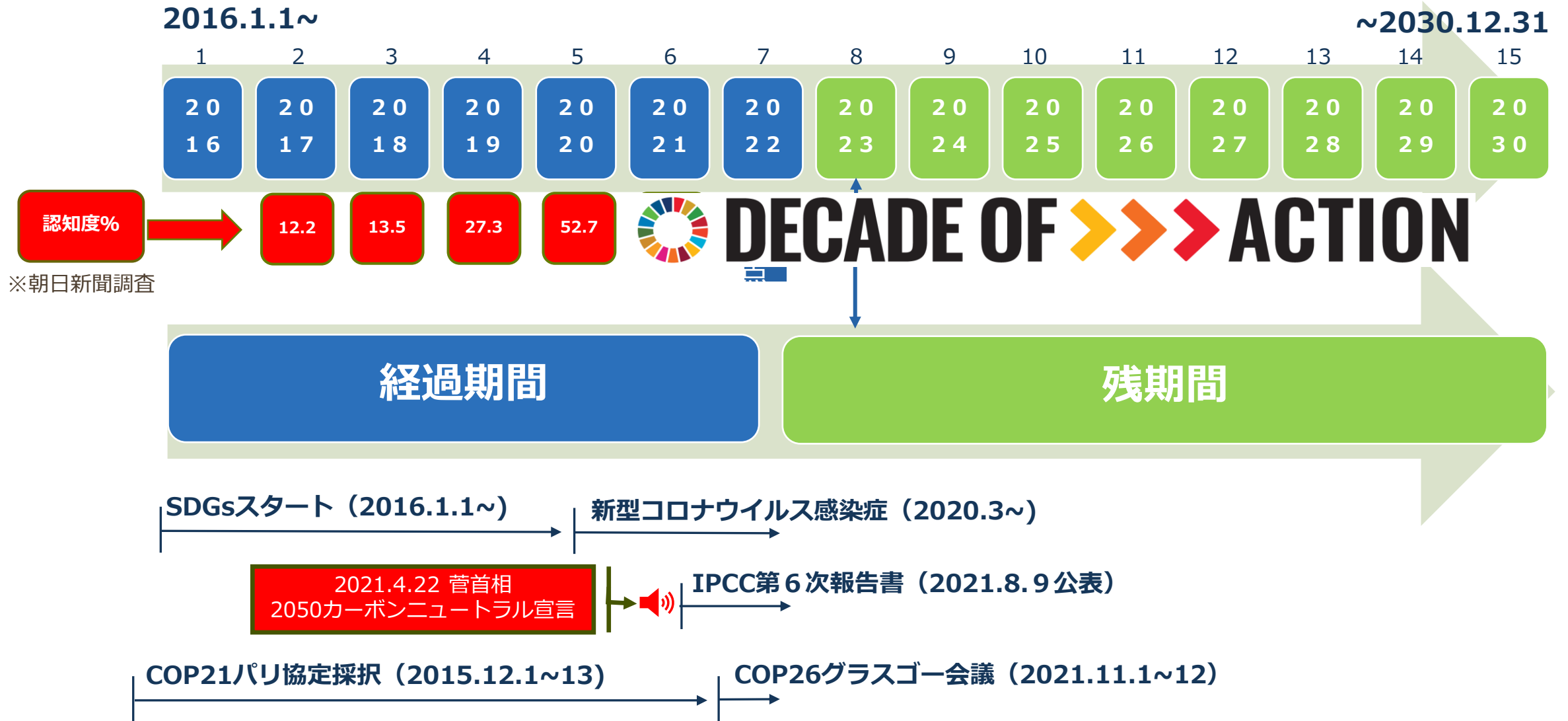


# SDGs とは何か？

SDGsの基礎知識と背景を知る



# SDGsの期間と進捗状況



「SDGs」とは2015年9月 ニューヨークの国連本部で参加193加盟国の全会一致で採択された**2030年までの17つの国際目標**で、正式には「2030アジェンダ」と呼ばれます。そしてこのSDGsは英語で、**Sustainable Development Goals**と表記され3つの頭文字と最後のsをとり、**SDGs (エスディー・ジーズ)**と呼ばれます。日本語では、「**持続可能な開発目標**」と訳されています。わが国でも最近では、「持続可能な(サステイナブル) …」という言葉が企業や組織や団体等で使われ始めています。

最近、こんなアイコンやバッジをよく見かけませんか？



目標1: あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



国際連合広報局

11

目標2: 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



国際連合広報局

12

目標3: あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



国際連合広報局

13

目標4: すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



国際連合広報局

14

目標5: ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



国際連合広報局

15

目標6: すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する



2016年3月21日

国際連合広報局

16

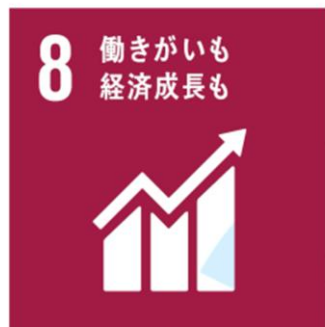
目標7: すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



国際連合広報局

17

目標8: すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する



国際連合広報局

18

目標9: レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る



国際連合広報局

19

目標10: 国内および国家間の不平等を是正する



国際連合広報局

20

目標11: 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする



国際連合広報局

21

目標12: 持続可能な消費と生産のパターンを確保する



国際連合広報局

22

目標13: 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



国際連合広報局

23

目標14: 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



国際連合広報局

24

目標15: 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



国際連合広報局

25

目標16: 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



国際連合広報局

26

目標17: 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



国際連合広報局

27



# SDGsフレームム 5P



(目標1~6)



**人間 people**

貧しさを解決すること。健康であること、健康な暮らしに必要な知識、衛生的な環境を保つこと。

(目標7~11)



**豊かさ prosperity**

どこで暮らしても心も体も豊かに暮らせるように格差を減らすこと。働きがいのある仕事をする。自然と調和したエネルギーを使うこと。テクノロジーへのアクセスを保つこと。安全で住みやすいまちをつくること。



(目標12~15)



**地球 planet**

絶滅の危機にある動植物を守る。限りある資源を守り、人間の暮らしが地球環境にどう影響するのかを考えること。自然災害を引き起こす気候変動の原因をなくすこと。

(目標17)



**パートナーシップ partnership**

地球に住むすべての人、国、企業、地域、学校、家庭の中で協力すること。

(目標16)



**平和 peace**

争いのない、戦争や暴力、迫害のない世界をつくること。





地球は閉ざされた環境の中にある「宇宙船地球号」  
今、様々な警報装置が鳴っている。



乗組員である地球上の生物は力を合わせてこの  
危機に立ち向かわなければならない！



# PART II

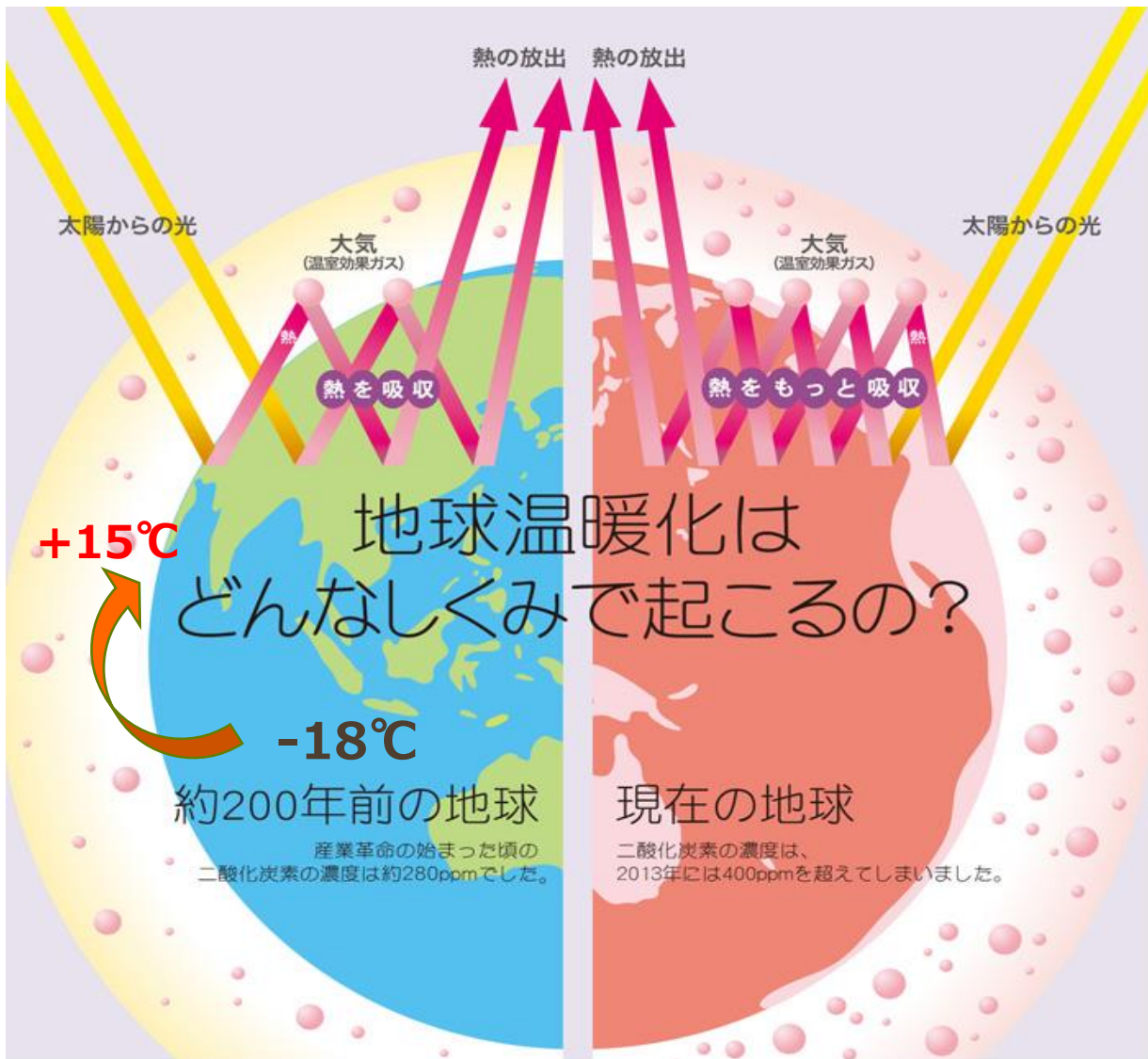


# 1.5度ライフスタイル

気候変動に向けての行動変容を考える



# 地球温暖化ってなに？



人類の活動で二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)など、温暖化ガスが増加、蓄積。



<https://www.neomag.jp/mailmagazines/topics/letter202009.html>

その結果、地球から熱が逃げにくくなり、地球の温暖化が進行。

<https://www.jccca.org/global-warming/knowledge01>

# 地球温暖化で起きること！

気温が上がると、世界中のいろんな場所で、雨がまったくふらずに、大地がからからにひびわれて、農作物もとれなくなってしまうたりします。

地球全体の温度が上がると、南極や北極の氷がとけ出す。すると、そこに住むペンギンやクマなどの野生動物たちが生きていけなくなってしまう。



氷が海にとけ出すと、海面の高さが上がってしまう。すでにこの100年間で10～20cm海面が上昇していて、南の島などが海にしずむ可能性も出てきています。

台風や洪水、竜巻（たつまき）などの自然災害がふえたり、伝染病（でんせんびょう）が発生する地域がふえるなど、大きな被害を受けることになります。

# パリ協定の目標達成と豊かな暮らしの両立を探るレポート 『1.5°Cライフスタイル—脱炭素型の暮らしを実現する選択肢—』



公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）日本語要約版作成  
[1\\_5\\_report\\_A4\\_FINAL\\_REPORT\\_j\\_web.pdf \(iges.or.jp\)](https://www.iges.or.jp/1_5_report_A4_FINAL_REPORT_j_web.pdf)

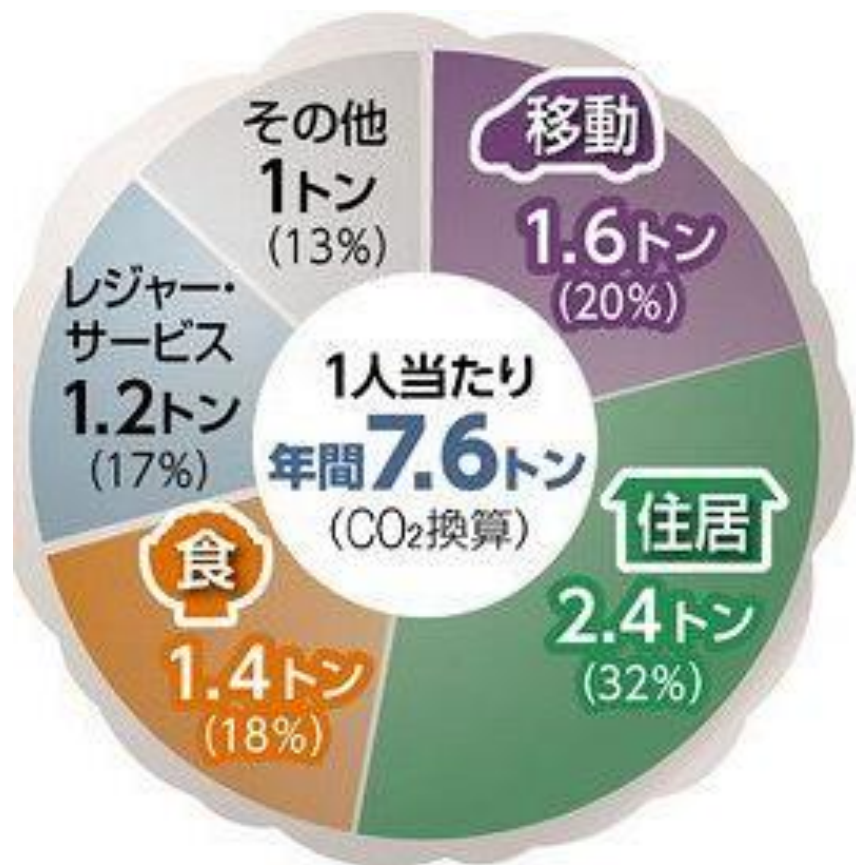
2018年10月、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は『1.5°C特別報告書』において、人々の行動とライフスタイルの変化が地球温暖化を1.5°C未満に抑えるための緩和の実現可能性を高める促進条件になると指摘しました。

本報告書は、**ライフスタイル・カーボンフットプリント**を軸に私たちの日常生活での消費や行動が気候変動に与える影響を推定しパリ協定の目標達成と豊かな暮らしの両立を探るものです。

脱炭素社会に向けて取りうる選択肢を示しました。これに基づき、本レポートは特に日本に焦点を当て、日本で生活する上で比較的取り入れやすく、かつGHG削減効果が大きいと考えられる具体的な選択肢や推計される定量的効果について、日本語で取りまとめたものです。

# 日本の現状と目標値 (1.5°C)

日本における一人当たりの  
ライフスタイル・カーボンフットプリント  
2017年度



パリ協定の1.5°C目標の目標達成には、現在の7.6トンから、2030年までに2.5トンにまで抑える必要がある。

👉 **67%の削減が必要!**

パリ協定の1.5°C目標をの目標達成には、現在の7.6トンから、2050年までに0.7トンにまで抑える必要がある。

👉 **91%の削減が必要!**

ライフスタイル・カーボンフットプリント (tCO<sub>2</sub>e/人/年)

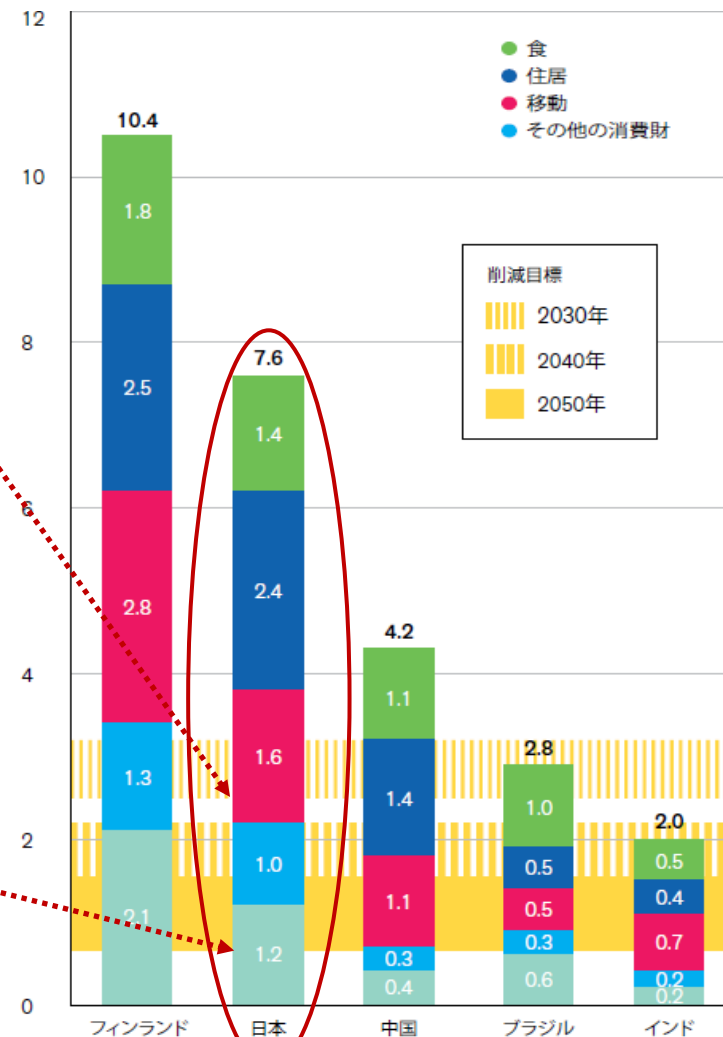


図 1.2 一人当たりライフスタイル・カーボンフットプリントおよび削減目標との

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/50672>

# CO2削減へのデータ分析

分析した消費領域のうち、3つの領域（食、住居、および移動）は、合計ライフスタイル・カーボンフットプリントの約7割を占めていた。したがって、これらの領域で対策を講じると大きな削減効果が得られる可能性がある。

カーボンフットプリント (kgCO<sub>2</sub>e%) : 1,400 kgCO<sub>2</sub>e/人/年 (外側の円)

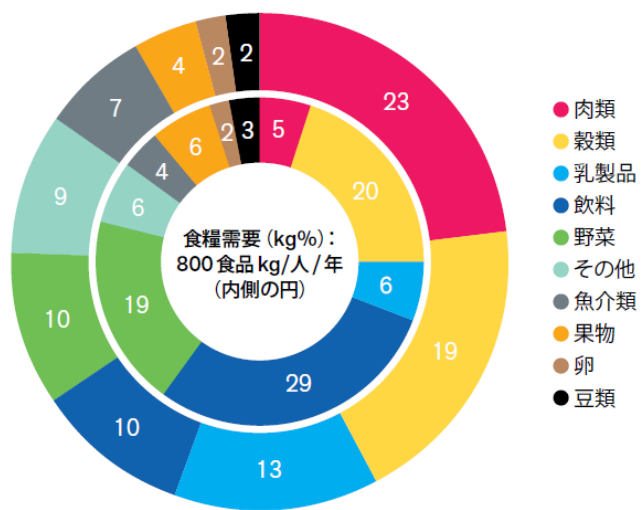


図 1.3 日本人の食に関連するカーボンフットプリントおよび物的消費量の割合 (2017年)

住居領域のうちエネルギー消費のカーボンフットプリント (kgCO<sub>2</sub>e%) : 1,860 kgCO<sub>2</sub>e/人/年 (外側の円)

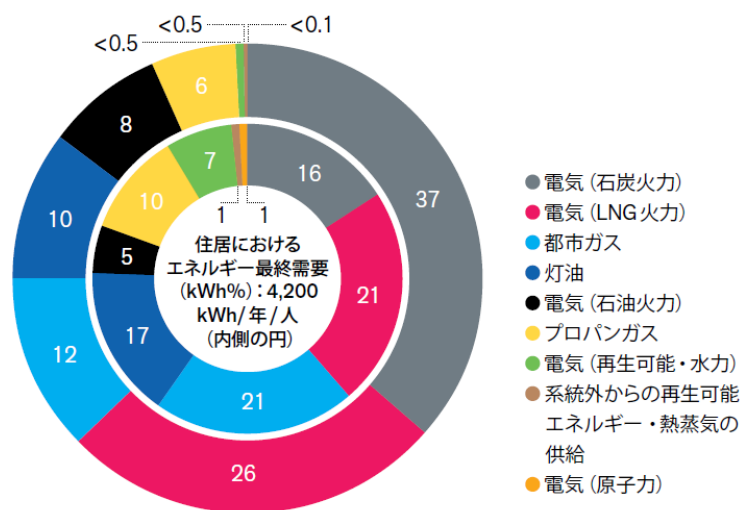


図 1.4 日本人の住居に関連するカーボンフットプリントおよび物的消費量の割合 (2017年)

カーボンフットプリント (kgCO<sub>2</sub>e%) : 1,550 kgCO<sub>2</sub>e/人/年 (外側の円)

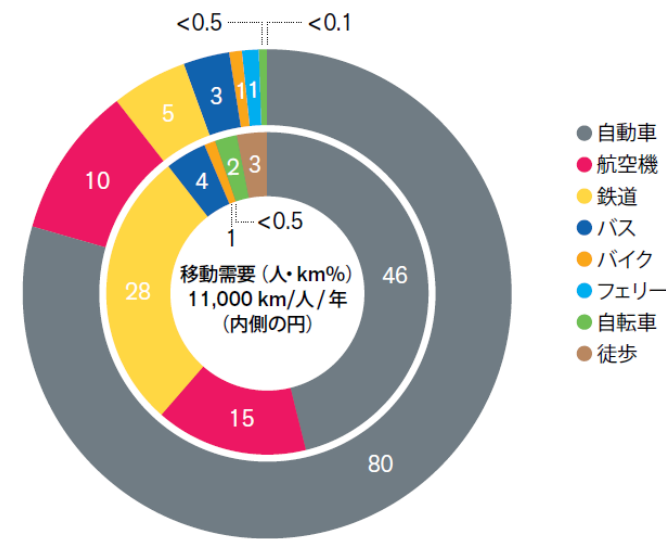
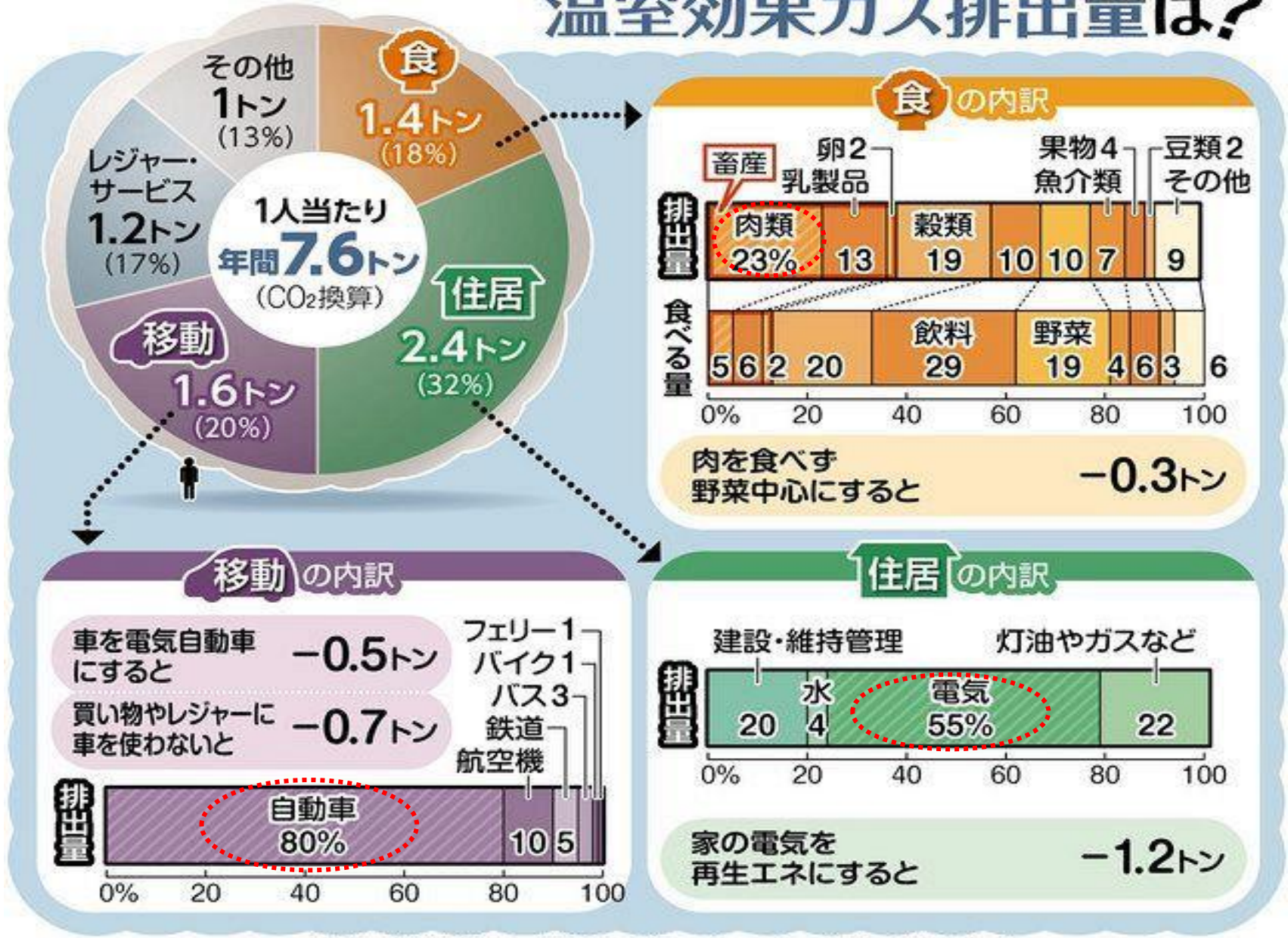


図 1.5 日本人の移動に関連するカーボンフットプリントおよび物的消費量の割合 (2017年)

# 日本での平均的な生活による 温室効果ガス排出量は？



※地球環境戦略研究機関「1.5°Cライフスタイル」を基に作成



# 脱炭素型ライフスタイルの有望な選択肢

## 「食」



領域場合、肉と乳製品は、消費量の割合が小さい(11%)にもかかわらず、カーボンフットプリントでは大きな割合(36%)を占める。

☞肉食を減らし、低炭素でありながら栄養価が高い「豆」「野菜」および「果物」はカーボンフットプリントの割合が比較的小さい食品などを中心とする食事スタイルの推奨。

## 「住居」



領域では、石炭やLNG発電などの化石燃料由来の電力および灯油や都市ガスなどの電力以外の燃料エネルギーの使用がカーボンフットプリントの主な要素である。

☞こまめな節電や、省エネ家電への切り替え、そして何より再生可能エネルギー由来の系統電力への切り替えの推進。

## 「移動」



領域では、自家用車利用が最もカーボンフットプリントへの負荷最も大きく(80%)、次が航空機(10%)の利用であることが明らかとなった。

☞車を使わない個人用途の移動、電気自動車、カーシェア、公共交通機関(電車、バスなど)の利用の促進。







# PART III



## エシカルな消費者

あなたの消費行動が世界の未来を変える



# エシカル消費とは？

**地域の活性化や雇用なども含む人や社会、地球環境（人間以外の生き物も含む）に配慮した商品やサービスを選ぶこと。**

簡単に言えば、毎日の買い物の中で、人や生き物、地球環境のために、よりよい選択をしていくことです。

もし、あなたが世界中の現状を知って、それを変えたいと思うなら、お財布から出す大切なお金が自分の「意思表示」になっていきます。普段の買い物が今は犠牲を強いられているかもしれない「誰か」の状況を改善したり、温暖化に歯止めをかけたりする助けとなります。私たちは未来をつくるパワーがある。これってすごいことだと思いませんか？

一般社団法人日本エシカル協会代表理事  
末吉里花 著：「エシカル革命」より抜粋

# 「エシカル消費」の基準とは？

## 「人」への配慮：

エシカル消費の視点から  
障がい者支援につながる  
など「人」へ配慮された  
商品であること。



## 「環境」への配慮：

エシカル消費の視点から  
エコ商品、リサイクル  
など「環境」へ配慮された  
商品であること。



## 「社会」への配慮：

エシカル消費の視点から  
チャリティやフェアトレード  
など「社会」へ配慮された  
商品であること。



## 「地域」への配慮：

エシカル消費の視点から  
地産地消、震災地支援など  
「地域」へ配慮された  
商品であること。



# 現状：日本では「エシカル」の明確なモノサシがない！

各企業、ブランドがそれぞれエシカルの基準として採用している状況。



**フェアトレードラベル：**  
国際フェアトレードラベル機構が定めた国際フェアトレード基準が守られていることを証明するマーク。世界的に最も認知されている倫理的ラベルの一つです。



**FSCトレードマーク：**  
適切な森林管理がされていると認証された森林から収穫された木材およびFSC規格で認められた原料を使用した木材製品や紙製品に付けられます。



**MSCラベル：**  
「海のエコラベル」とも呼ばれ、水産資源や生態系に配慮した漁業による水産物の証です。対象となるのは、天然の水産物のみです。



**RSPO認証：**  
持続可能なパーム油のための国際規格。RSPOとは複数のステークホルダーから成る国際組織で、持続可能なパーム油のための認証スキームを開発・運用しています。



**レインフォレスト・アライアンス：**  
農業、林業、観光業の事業者が監査を受け、環境・社会・経済面のサステナビリティを義務付けた基準に準拠していると判断されたことを意味します。



**オーガニック・テキスタイル：**  
原材料がオーガニックであるだけでなく、生地生産・加工や保管・流通のすべての過程で環境的・社会的な基準を満たした商品に認証が与えられます。。





## 有機JASマーク

農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないことを基本として、自然界の力で生産された食品を表しており、農産物や畜産物のほか、これらを原料とした加工食品にも付けられています。このマークが付いた商品を買うことで、環境への負担を少なくすることができます。

**商品例** 野菜、肉、くだもの、茶葉、味噌、チーズ、アイスクリームなど





## エコマーク

生産から廃棄にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品に付けられるマークです。

このマークが付いた商品を買うことで、環境への負荷を軽減することにつながります。

商品例 ノート、タオル、まほうびん、パソコンなど



**エコマークのまほうびんはここがすごい**

高い環境基準をクリアした商品

- エネルギー消費の削減に寄与 → 保温・保冷の効力が高い
- 長期使用によりゴミの削減や資源の節約に配慮 → 原料部品は生産終了後5年間提供可能
- リサイクルの配慮 → 使用後のリサイクルを考慮して金属材料を選定

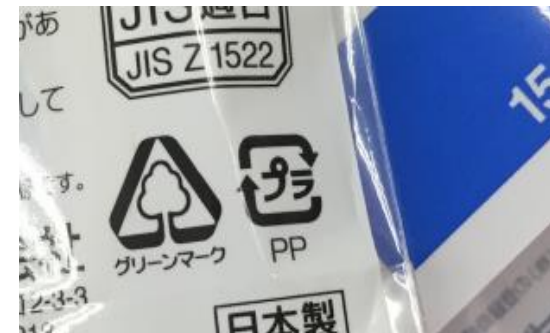


## グリーンマーク

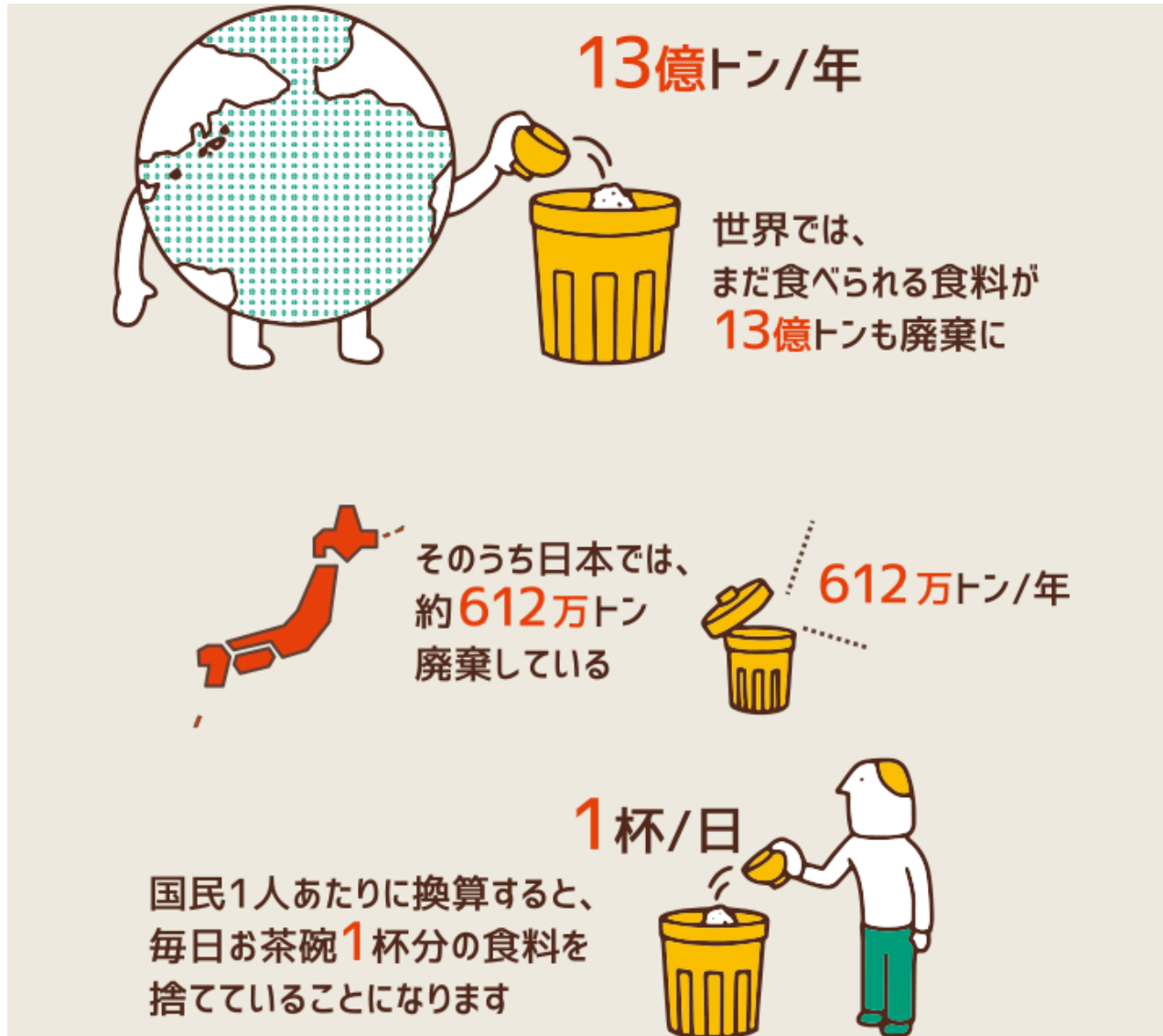
古紙を原料に利用した製品であることを確認できる目印として付けられるマークです。古紙を決められた割合以上利用したものに表示することができます。

このマークの付いた商品を買うことで、古紙の利用拡大や、紙のリサイクルの促進につながります。

商品例 ノート、トイレトペーパー、ティッシュペーパー、コピー用紙、新聞紙、紙箱など



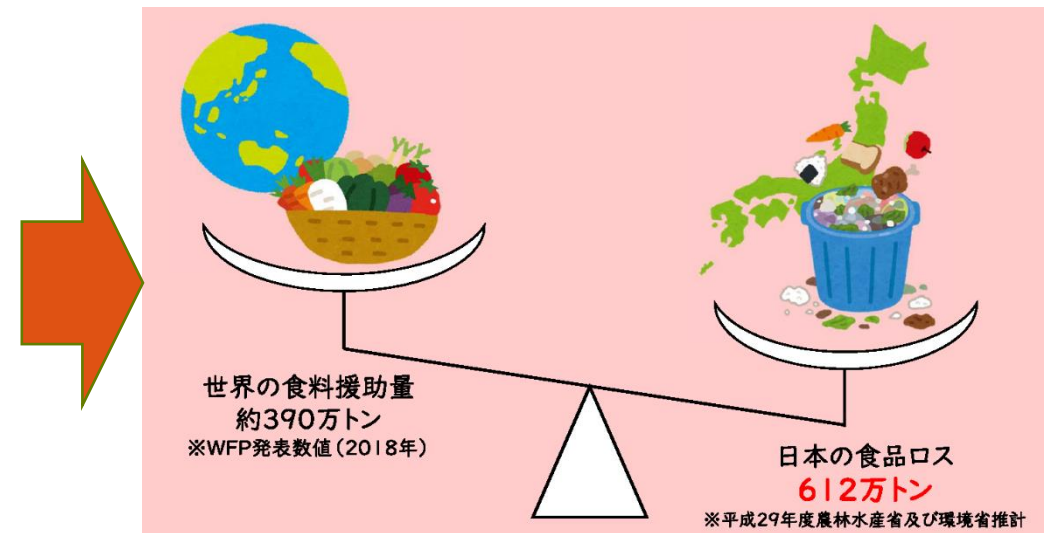
# 食品ロスを取り巻く状況



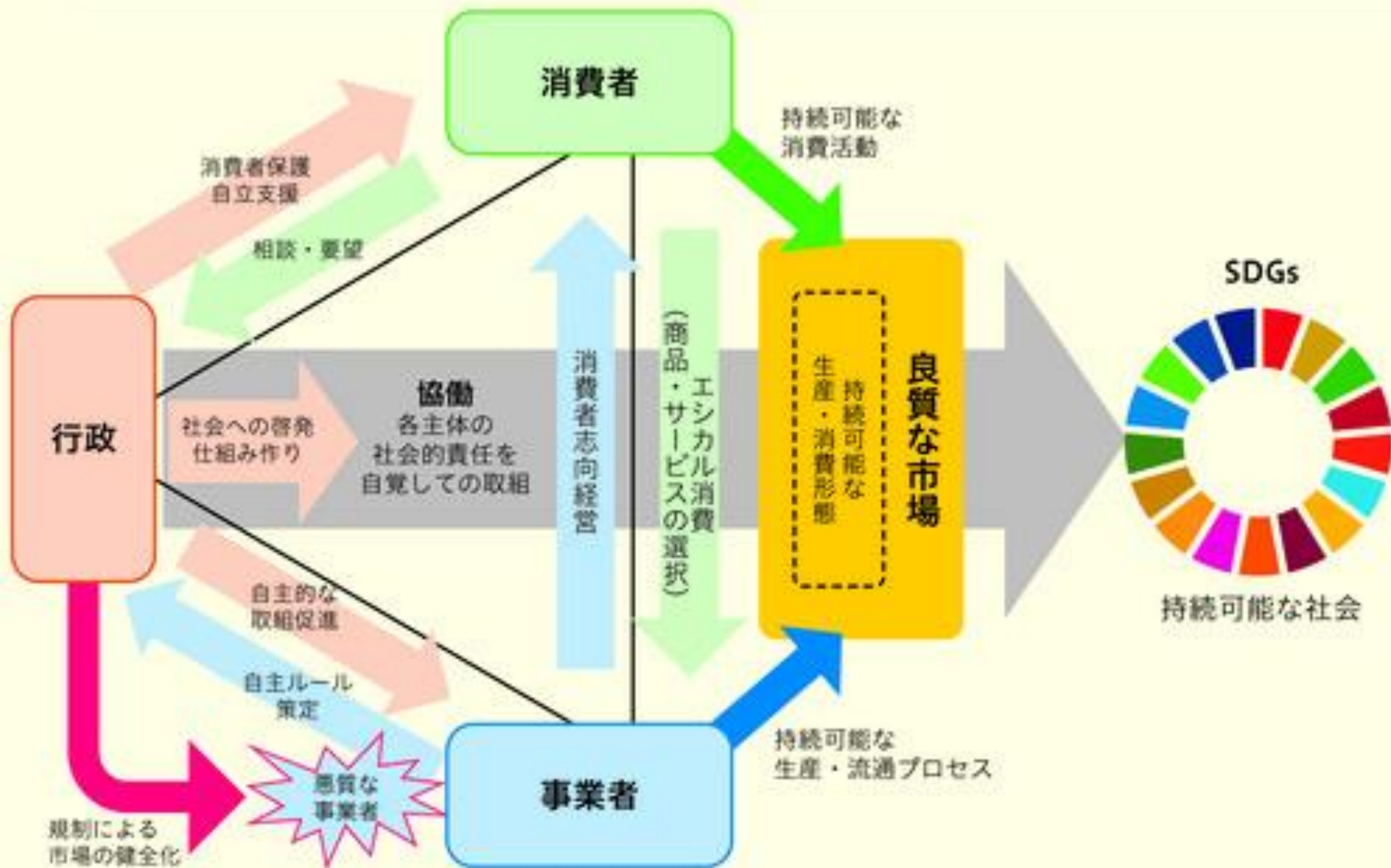
[https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2010/spe1\\_01.html](https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2010/spe1_01.html)



<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201303/4.html>



[https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/ecology\\_suishin/syokuhinrosusakugen/11753.html](https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/ecology_suishin/syokuhinrosusakugen/11753.html)



# PART IV



# 私のSDGs実践計画

SDGs達成のために私たち消費者ができること



# 生活の中でどんなエシカル消費ができるか考えてみましょう。

## 今日から始められる3つのアクション



### 1.調べる

SDGsの目標や社会で起きているの問題などを調べて、新たな発見をしましょう。ポイントは、企業や行政機関など信用できる情報を参照することです。



### 2.行動する

調べたら、行動に移しましょう。お店で認証ラベルのある商品や、長く使える商品を選ぶようにしましょう。また、買い物は必要なものだけを買うようにしましょう。



### 3.他の人と シェアする

よい情報はみんな知りたいものです。家族や友人に話したり、インターネットでシェアしたりして気付きを増やしていきましょう。

# 私のSDGs活動実践計画 Level 1

## ●生活行動実践チェックリスト10

次の①～⑩の中ですでに「やっていること」には  の中に○印を書いてください。

①エコバックを使う



②食べ残しを減らす



③節電を心がける



④マイボトルを使用する



⑤地元の商品を購入する



⑥使い捨てプラスチックを減らす



⑦ごみはルールどおりに分別して出す



⑧商品棚の手前にある商品を購入する



⑨洗剤詰め替えなど空き容器を再利用する



⑩できるだけ徒歩、自転車、バスを使う



# 私のSDGs活動実践計画 Level 2

## ●消費者行動実践チェックリスト10

次の①～⑩の中ですでに「やっていること」には  の中に○印を書いてください。

①障がい者が作った商品を選ぶか



②寄付金付き商品を選ぶ



③フェアトレード商品を選ぶ



④オーガニック商品を選ぶ



日本  
有機JAS規格

⑤自然環境を守る商品を選ぶ



⑥エコ商品を選ぶ



⑦食品ロスを削減する



⑧節電・節水を心がける



⑨地域で生産された商品を選ぶ



⑩被災地の商品を選ぶ





# グリーンコンシューマーになりませんか？

商品やサービスを購入する際、価格、品質、機能、デザインといった条件だけでなく、環境や社会への影響にも配慮して商品やサービスを選ぶことを、グリーン購入と呼びます。国でも2001年に「グリーン購入法」を施行しています。

このグリーン購入を積極的に行う消費者を、グリーンコンシューマーと呼びます。

## グリーンコンシューマーの10原則

- ①必要なものを必要なだけ買う。
- ②使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ。
- ③包装はないものを最優先し、次に最小限なもの、容器は再使用できるものを選ぶ。
- ④作る時、使う時、捨てる時、資源とエネルギー消費の少ないものを選ぶ。
- ⑤化学物質による環境汚染と健康への影響の少ないものを選ぶ。
- ⑥自然と生物多様性を損なわないものを選ぶ。
- ⑦近くで生産・製造されたものを選ぶ。
- ⑧作る人に公平な配分が保証されるものを選ぶ。
- ⑨リサイクルされたもの、リサイクルシステムのあるものを選ぶ。
- ⑩環境問題に熱心に取り組み、情報を公開しているメーカーや店を選ぶ。

## 「成長の限界」 著者より

人類は限界を大きく行き過ぎてしまったが、その結果、必ずしも破局がやってくるとは限らない。成長を前提とする現在の社会システムの問題を理解し、適切な修正を加えることにより、ある程度の生活水準を保ちながら持続的な社会を維持できるシナリオはまだ残っている。

それは、「農業革命」と「産業革命」に続く第3の大きな革命、**持続可能性革命**とならざるを得ないだろう。

これを成功させるためには、5つのツール

- (1) **ビジョンを描くこと**
- (2) **ネットワークを作ること**
- (3) **真実を語ること**
- (4) **学ぶこと**
- (5) **慈（いつく）しむこと**

を有効に使うことが必要であると本書は結んでいる。

# Think Globally、 Act Locally

地球規模で考え、地域で行動しよう！



# Think Globally、 Act Ota-City

地球規模で考え、区民みんなで行動しよう！

